



## 第二次大戦中に展開された 「供木運動」の実態

第二次世界大戦中、政府は「軍需造船供木運動」を開始する。木造船を緊急増産するため、一斉に屋敷林・社寺林・並木・公園・海岸林の木々の伐採供出運動が展開される。人々の暮らしに身近な木はこうして船になったが、果たしてどれだけ役に立ったか？

戦争が巨木を伐った——太平洋戦争と供木運動・木造船

瀬田勝哉：著 平凡社

四六判並製 528頁 2021年刊 ISBN:9784582842364 4,180円



## 内戦を逃れ、海を渡った 少女の再生の物語

シリア人の十一歳の少女アーヤは、内戦により母国を逃れ、辿りついたイギリスで難民認定を待っていた。ある日通っている難民支援センターの建物内にバレエ教室があることに気が付く。シリアでバレエを習っていたアーヤは踊ることで気力を取り戻していく。

シリアからきたバレリーナ

キャサリン・ブルトン：著 尾崎愛子：訳 平澤朋子：絵 偕成社

19cm×13cm並製 303頁 2022年刊 ISBN:9784037269609 1,650円



## 戦争で苦しめられるのは いつも普通の人びと

いま戦渦の最中にあるウクライナ。この地は二人の独裁者に苦しめられた過去があります。強制収容所、意図的な飢餓、憎悪と分断。戦争をする国家はいつも民間人を大量に死に至らしめる。悲しい現実です。第二次大戦下の知られざる惨禍を描いた世界的ベストセラー。

ブラッドランド——ヒトラーとスターリン 大虐殺の真実 上下

ティモシー・スナイダー：著 布施由紀子：訳 筑摩書房

四六判並製 352頁/400頁 2015年刊

ISBN:9784480861290/9784480861306 3,080円/3,300円

\* 価格は10%税込です

## 出版社クイズ

…… なんていう名前の出版社かわかりますか？

①創業は1946年11月。憲法発布日と同日。初の書籍は『愛情は降る星のごとく』第3版。世界評論社の発行元を引き受けて刊行した。このとき2万部の用紙工面のためになんと創業者の持つ山梨の木を切り出し、王子製紙に送りこんで調達させたという凄技を展開。

②1952年文庫をスタートさせる。後に1981年3月刊の『見える学力 見えない学力』が100万部を超える大ヒットとなる。また1971年から3年かけて平塚らいてう自伝全4巻刊行。そのタイトルが『元始、女性は太陽であった』。

③現社長は「世の中のためになる」という信条を胸に趣味でもあるランニングをいまでも続けている。

\*クイズの答えは次号(14号)=梓会加盟出版社を紹介してゆきます

## 前号のクイズのお答え

### いつも、学ぶ人の近くに ベレ出版

1998年に創業。「ふつうの大人のための学びなおしテキスト」を出版方針に掲げ、語学(英語・諸外国語)・数学・自然科学・地理歴史・日本語のジャンルで一般書を発行している。

創業者は前職で出版社の営業マンとして書店を訪問する際、いつもベレー帽を被っていたため「ベレー帽の内田さん」として認知されていた。社名はそのベレー帽に由来するが、「意味がなさそうな言葉のほうがいい」という社員からの意見を踏まえて、ベレーの「ー」は除くことになった。



# 梓会 図書館クラブ 通信

Azusa-kai Library Club



図書館は本の森。出版梓会は事典から絵本までユニークな本を丁寧に作る出版社の集まりです。この葉では毎回テーマを決めて、読書の愉しみを、ひとりの時間を極上にしてくれるお宝本を、こっそりお教えします

戦火によって失われるものは、人の命だけではありません。暮らし、夢、文化、歴史、自然……。

今月のテーマは、  
「人は戦争ばかりしている」です。

戦争で一体何が起こるのか。  
考えてみます。



2022年13号  
出版梓会

データダウンロードはこちら⇒





## あの日々をどう生きたか。 157の体験。これが戦争なのだ。

『戦争中の暮しの記録』（1969年刊）から約50年——。ふたたび『暮しの手帖』は、戦争体験の手記を募りました。本書は、庶民の戦中・戦後の暮らしがわかる貴重な記録であり、あの戦争を生き抜いた方々からの、いのちのメッセージ集です。

**戦中戦後の暮しの記録——君と、これから生まれてくる君へ**

暮しの手帖編集部：編 暮しの手帖社

B5判並製 312頁 2018年刊 ISBN:9784766002096 2,750円



## 世界各地の戦争を一冊で 「戦争」で学ぶ世界史

「トロイの木馬」の話は本当？ 十字軍はイェルサレムで何をした？ 原爆は、なぜ8月6日に投下されたの？ 戦争のはじまりから現代の戦争、さらに核兵器廃絶の動きまで、戦争の歴史をQ&A形式で解説する。戦争をとおして世界史が学べる一冊。

**これならわかる戦争の歴史Q&A**

石出法太、石出みどり：著 大月書店

A5判並製 184頁 2020年刊 ISBN:9784272502264 1,760円



## 中国史上最も永い戦乱の世、 「春秋戦国」は“教訓の宝庫”

550年という中国史上もっとも永きにわたった戦乱の時代「春秋戦国」。戦乱の世から中国統一までを臨場感豊かに描く。中国の古典・故事成語・諺などはこの時代に由来するものが多い。この時代の歴史を知らずして、中国という国家を真に理解することはできない。

**世界史劇場 春秋戦国と始皇帝の誕生** 神野正史：著 ベレ出版

A5判並製 336頁 2021年刊 ISBN:9784860646646 1,760円



ごはん炊くときどうしてる？ お酒かみりんを入れると、ふっくらツヤツヤに！ 蜂蜜かオリーブオイルをたらせばピッカピカになるよ！ 中ぶた付の土鍋がおすすめデス♪



## 図書館は歴史的記憶の貯蔵庫。 破壊＝アイデンティティ抹殺！

戦争や内乱は人命を奪うだけでなく、その土地の建築物や文化財も破壊してゆく。図書館も例外ではない。それは歴史的価値や美的価値を損なうだけでなく、民族や共同体自体を消し去る行為でもある。からくも完全破壊を免れた廃墟が語るものとは？ 建築物の記憶をたどる。

**なぜ人類は戦争で文化破壊を繰り返すのか**

ロバート・ベヴァン：著 駒木令：訳 原書房

四六判並製 376頁 2022年刊 ISBN:9784562071463 2,970円

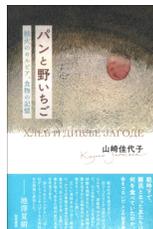


## 戦火のシリアで猫たちを保護し 世界中から愛を集めた人の実話

美しい街、シリアのアレッポが、戦争によって破壊された。しかし、一人の救急隊員が始めた猫たちの保護活動が、街の大きな希望になっていく……。世界的に知られた心あたたまる話が絵本化された。2021年のコールデコット・オナー賞受賞作。

**アレッポのキャットマン** アイリーン・レイサム、カリーム・シャムシ・バシャ：著 安田菜津紀：訳 清水裕子：絵 あかね書房

28cm×24cm上製 33頁 2021年刊 ISBN:9784251099426 1,760円



## 戦時下で難民となった友たちは 何を食べていたのか。

第一次、第二次大戦、ユーゴスラビア内戦、コソボ紛争……戦争の絶えないバルカン半島に長年住む著者が戦火のレシピを集めた。食べ物とは思い出のこと。料理とは甦りのこと。繰り返される歴史のなかの、繰り返しのない一人ひとりの人生の記憶と記録。

**パンと野いちご——戦火のセルビア、食物の記憶**

山崎佳代子：著 勁草書房

四六判上製 320頁 2018年刊 ISBN:9784326851942 3,520円



## 沈黙の中にある声に耳を澄ませ 生きることへ寄り添う

戦後75年を迎え、これまで未解明であった戦争孤児の全体像を明らかにする。全国各地の実態を数値や制度上で把握するだけでなく、一人の生の記録として着目。孤児になる経緯・ジェンダーなどの視角を重視し、現代的観点から孤児問題を考える姿勢を提示する。

**戦争孤児たちの戦後史1——総論編**

浅井春夫、川満彰：編 吉川弘文館

A5判並製 264頁 2020年刊 ISBN:9784642068574 2,420円



## 戦争の実態から学ぶ、 平和、命の大切さ

ベトナム戦争をはじめ、ラオス、カンボジア、ボスニア、ソマリア、アフガニスタンなど、多くの戦場と、人々の暮らしを撮影し続けてきた、報道写真家・石川文洋。彼が戦地を取材、撮影した写真を使い、戦争の実態を子どもたちに語りかけた、平和の授業。

**報道カメラマンの課外授業 いっしょに考えよう、戦争のこと(全4巻)** 石川文洋：著 茅野市立北部中学校：協力 童心社

A4判上製 各47頁 2018年刊 ISBN:9784494045723 12,320円



## 観応の擾乱から明応の政変まで 12の争いで読む室町の実相

将軍家、天皇家、各地守護一族の複雑な人間模様渦巻く室町時代。兄弟の対立、朝廷内の騒乱、大名家一族の権力争い……彼らはなぜかくも争いを続けたのか？ 点としての数々の戦乱が線として結びつくことで見えてくる、室町の体制をめぐる戦いと政治の歴史。

**戦乱と政変の室町時代** 渡邊大門：編 柏書房

四六判並製 276頁 2021年刊 ISBN:9784760153077 2,200円